

「地方紙の未来を考える…ローカルジャーナリズムの担い手の行方」

【イベント概要】

〔問題提起者〕

武蔵大学社会学部メディア社会学科松本研究室の地方紙調査チームの学生達
鈴木賀津彦（東京新聞編集局読者部編集委員）＋主要地方紙のスタッフ（中国新聞編集局
経済部の山本洋子記者、その他）

〔討論者〕

宮本聖二（Yahoo!ニュースプロデューサー、立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授、武蔵大学社会学部非常勤講師）

〔司会者〕

武蔵大学社会学部メディア社会学科松本研究室の学生有志

武蔵大学社会学部メディア社会学科松本研究室では、地域メディアについて学ぶ学生有志が、今年度、全国各地の地方紙（琉球新報、沖縄タイムス、愛媛新聞、山陽新聞、新潟日報）、地域紙（市民タイムス、News つくば（元常陽新聞））を訪問取材し、「オルタナS」のニュースサイトの記事等で報告してきました。

そうした調査を踏まえて今回、改めて「地方紙の未来を考える…ローカルジャーナリズムの担い手の行方」というテーマで、東京新聞のような首都圏の地方紙も含む、地方紙のリソースを活かしたこれからの新たなビジネスモデルの構築、デジタル化と流通面（販売店ビジネスを含む）の課題、記者の新たなロールモデルの考察（福井新聞まちづくり企画班の取り組み等）、まわしよみ新聞やシンブリオバトル等を含むNIE、NIBの取り組み等について、紙面づくりに取り組む現場の方をゲストにお招きして参加者同士で議論し、理解を深める公開トークイベントを企画します。

なお鈴木賀津彦東京新聞編集局読者部編集委員＋山本洋子中国新聞編集局経済部記者の出演は確定していますが、主要地方紙のスタッフにつきましては、本業の現場での仕事が優先されるため、当日、どの地方紙の方に来ていただくかにつきまして、確定するのが直前になることをご了承ください。

当日は第1部で、最初に全国各地の地方紙を訪問取材した武蔵大学社会学部メディア社会学科の学生達から報告と（主に地域メディアやジャーナリズムについて学ぶ学生の視点から）今日の地方紙の諸課題についての問題提起を行った後、投げかけられたゲストの地方紙の方から、それに対する回答と、現在、どんなことを考えてどんな取り組みを行っているのかについて紹介していただきます。

そして第2部では、最初に Yahoo!ニュースの宮本聖二プロデューサーから、ヤフーのようなポータルサイトが今後、地方紙とどのような協力関係を築いて地方紙によるローカルジャーナリズムの機能を維持していくことが出来るのか等についてコメントいただきます。そしてその後は会場の参加者を交えて議論し、今日の地方紙が抱える諸課題について理解を深め、多くの方と問題を共有することが出来ればと思います。

ぜひ地方紙とローカルジャーナリズムについて関心のある多くの方の参加をお待ちしています。